

釣った魚に餌を・・・

柔らかな日差しが降り注ぎ、花々が一斉に開花する季節となりました。それにしても今年の桜、例年より満開が二週間も早いなんて全くの想定外でした。自然は時に粋なサプライズを演出してくれます。

今年は積雪があったものの暖冬で、公民館のパンジーやビオラも例年より生育がよく、花の色も艶やかです。

お天気の良い日に、草取りや肥料を施していると、来館した皆さんからよく声をかけられます。

「まあ館長さん自らお世話を！」

「手入れが行き届いて、ほんとに綺麗なこと！」

「やっぱり常日頃の丁寧なお世話が大事ですよね」

などと褒められ、つい調子に乗って

「花も女性と同じで、手をかけたほど綺麗になります。」

せっかく植えたんだから、きちんと面倒見てやらないとね。釣った魚に餌をやらない訳にはいかないよね」などと偉そうな講釈を。これが意外にウケた。

気をよくして、よせばいいのに夕食の食卓でこのやり取りを披露すると。

「ほほっ！そうですか。あなたの目の前に釣られた魚が座っていますが、久しく餌など頂いた覚えがございませんけど」

部屋の空気が凍りついた。